

# 安全上のご注意

※ご使用の前に、この「安全上のご注意」、「ご注意とお願い」(3,4ページ)をよくお読みの上、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ **警告**：誤った取り扱いをしたとき、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

⚠ **注意**：誤った取り扱いをしたとき、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の例



△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。  
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。  
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。




●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。  
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。





## ⚠ 警告

	<p>●改造しないでください。修理技術者以外の方は分解したり、修理をしないでください。修理に不備があると発火したり、異常動作してけがをすることがあります。修理はお買い上げの販売店、またはタイガーお客様ご相談窓口までご相談ください。</p>
	<p>●定格15A以上のコンセントを単独で使ってください。他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。</p> <p>●差し込みプラグは、刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合は、よくふきとってください。そうしない場合、火災の原因になります。</p>
	<p>●水につけたり、水をかけたりしないでください。 ショート・感電の恐れがあります。</p>
	<p>●すき間にピンや針金などの金属物等、異物をいれしないでください。感電や異常動作してけがをすることがあります。</p> <p>●お子様だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。 やけど・感電・けがをする恐れがあります。</p> <p>●炊飯中は、絶対にふたを開けないでください。 やけどをする恐れがあります。</p>

## 警告

	●電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。
	●電源コードを傷付れたり、破損したまま使用したり、加工したり、無理に曲げたり、引っばったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
	●電源100V以外では、使用しないでください。火災・感電の原因になります。
	●取扱説明書に記載以外の用途には使わない。 蒸気や内容物が噴出し、やけどやけがをするおそれ。 〈してはいけない調理例〉 ・ポリ袋などに具材や調味料を入れて加熱する。 ・クッキングシートなどを落としふた代わりに使用する。

## 注意

	●蒸気孔に手をふれないでください。やけどをすることがあります。 特に乳幼児には、さわらせないようにご注意ください。
	●水のかかるところや、火気の近くでは使用しないでください。 感電や漏電の原因になります。
	●専用内なべ以外は、使用しないでください。過熱、異常動作の原因になります。
	●不安定な場所や熱に弱い敷物の上では、使用しないでください。 火災の原因となります。
	●使用時以外は、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。 そうしない場合、けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。
	●差し込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差し込みプラグを持って引き抜いてください。そうしない場合、感電やショートして発火することがあります。

# ご注意とお願い (ご使用前に必ずお読みください。)

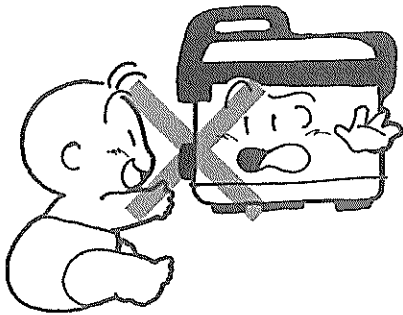
火災・感電・やけど・故障などを防ぐため、次のことは必ず守ってください。

## 使用場所・取り扱い

### ⚠ 警告

❌ お子様だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

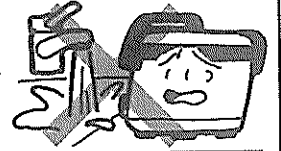
- やけど・感電・けがをする恐れがあります。



### ⚠ 注意

❌ 水のかかるところや火気の近くでは使用しないで

- 感電や漏電の原因になります。

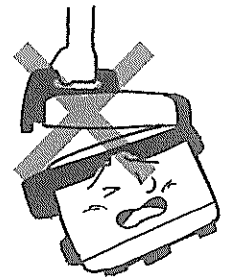


❌ 不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しないで

- 火災の原因となります。

### 取り扱いはていねいに

- 落としたり、強い衝撃を加えたりすると、故障の原因になります。
- 持ち運び中にフックボタンにふれないでください。外ぶたが開くことがあります。



## 使用前

### ⚠ 警告

❗ 定格15A以上のコンセントを単独で使用する

- 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

❌ 電源コードを傷付けたり、破損したまま使用したり、加工したり、無理に曲げたり、引っばったり、ねじったり、たばねたりしないで

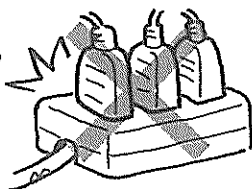
- また、重いものを載せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

❌ 交流100V以外では使用しないで

- 火災・感電の原因になります。

タコ足配線はしないで

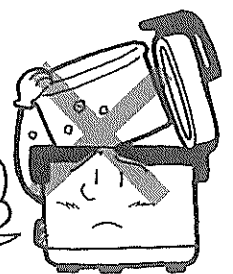
- 火災の恐れがあります。



こげついたごはんつぶ、米つぶなどは取り除いて

- 故障の原因になります。

本体の内側、上枠、内なべの底、熱板、センターサーモなど



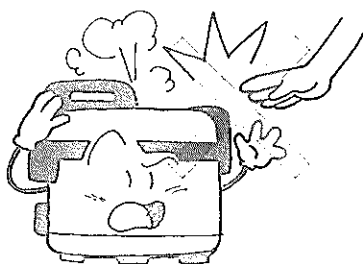
## 使用中

### ⚠ 警告



炊飯中は、絶対に  
ふたをあけないで

○やけどをすることがあります。

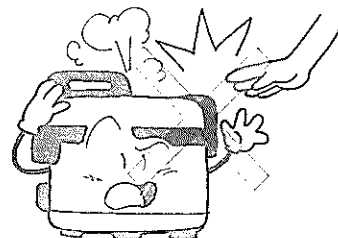


### ⚠ 注意



蒸気孔に手をふれないで

○やけどをすることがあります。特に  
乳幼児には、さわらせないように注  
意ください。

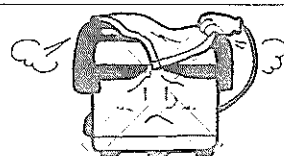


ふたを開けるときは蒸気に注意して

○やけどの恐れがあります。

フキンなどをかけないで

○本体やふたの変形・変色の原因に  
なります。



## 使用後

### ⚠ 警告



水につけたり、水を  
かけたりしないで

○ショート・感電の恐れがあり  
ます。

丸洗いはしないで

○本体を丸洗いしたり、本体内部や  
底部に水を入れたりしないでく  
ださい。ショート・感電の恐れ  
があります。(11ページ参照)



内なべのフッ素加工面を傷めない  
ために…

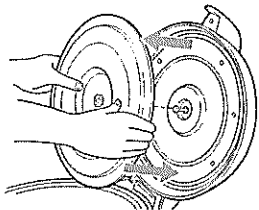
- しゃもじは、付属のものか木製のものを使用してください。
- 塩分・酢などによって腐食しやすいため、精白米以外の保温はできるだけさけてください。
- 内なべのフッ素加工面は、食品衛生上安全です。
- ご使用中、色むらができることがありますが、ごはんや人体には影響ありません。
- 内なべが変形したり腐食した場合は、お近くのタイガー製品販売店でお買い求めください。

次のような条件が重なった場合には、  
ふきこぼれがおきやすくなりますので  
注意してください。

1. 水の量が米の量に合わせた正しい水量より多いとき
  2. 米の量をまちがえたとき→付属の専用計量カップで正しくはかる
  3. 洗米が不十分なとき→洗米を充分に行ってヌカ分をなくす
  4. 水分を多く含んだお米(新米、軟質米等)を炊くとき→内なべの目盛(標準水量)より少なめにする
- ※少量のごはんをやわらかく炊く場合にはふきこぼれを防ぐために40°C位のぬるま湯で洗米して、40°C位のぬるま湯で炊飯するようにしてください。

# 各部のなまえとはたらき

## 内ぶたのはずし方、つけ方



つける時は、内ぶた止めゴムのとび出ている面を内側にして押しつけます。

## 内ぶた止めゴム

取りつける時は、方向をまちがえないように！

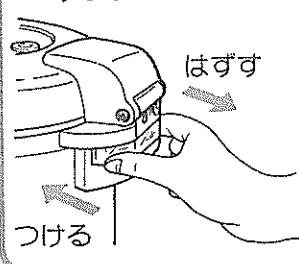


フックボタン

ふた開閉ハンドル

蒸気孔

## つゆ受け



電源コード

差し込みプラグ

## 炊飯シート

(消耗部品→11ページ参照)  
・ご飯のおこげを防止します。

とっ手

センターサーモ

ヒーター

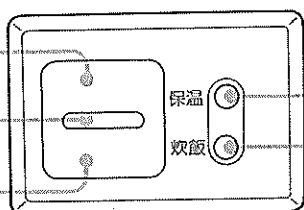
本体

## 炊飯ボタン (3段切替になっています。)

切

保温セット

炊飯セット



保温

炊飯

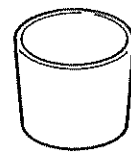
保温ランプ

炊飯ランプ

## 付属品



しゃもじ



計量カップ

# 炊飯時間の目安

炊飯時間は、炊飯量、お米の種類、季節、室温、水温、水加減、電圧などにより多少変わりますので、一応の目安とお考えください。(電圧100V、室温20°C、水温20°C、水加減は標準水位)

●炊飯が始まってから自動的に切れるまでの時間です。このあと15~20分間充分にむらしてください。

サイズ	メニュー	白米
2.7L (1升5合)タイプ		27~37分
3.6L (2升)タイプ		20~35分

# ごはんの炊きかた

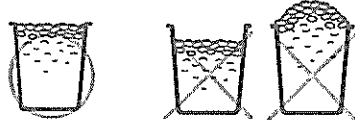
○初めにお使いになるお客様へ

本体内の油を焼き切るために、内なべの約半分まで水を入れて炊飯にセットし、約30分間湯わかしをしてください。このとき煙が出たり、においがしたりすることがありますが故障ではありません。

1

## お米をはかる

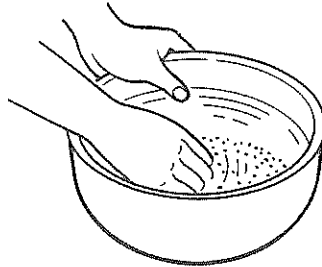
付属の計量カップすりきり1カップで約0.18L(約1合)



- お米を正しくはかからないと、ふきこぼれたりしてうまく炊飯できないことがあります。

2

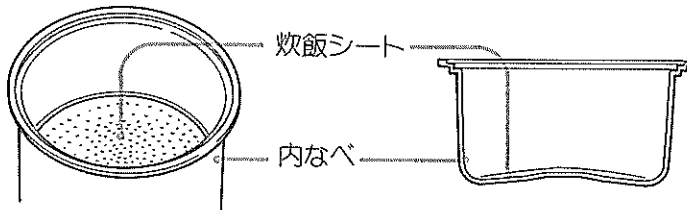
## お米を洗う



- 内なべ以外の容器で洗米してください。内なべで洗米すると、フッ素加工面が傷ついたり、底面がへこんだりして、うまく炊飯できなくなることがあります。
- ⇒9ページ「おいしく炊くために」参照

3

## 炊飯シートを内なべの底にしく



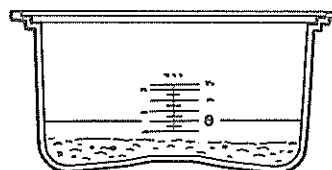
- 炊飯シートにしわがよると炊きむらの原因になります。また、ズれた部分は焦げができません。

4

## 水加減をする

- 例えば、付属の計量カップで8カップの白米を炊くときは、「8」の目盛まで水を入れます。

内なべは水平に



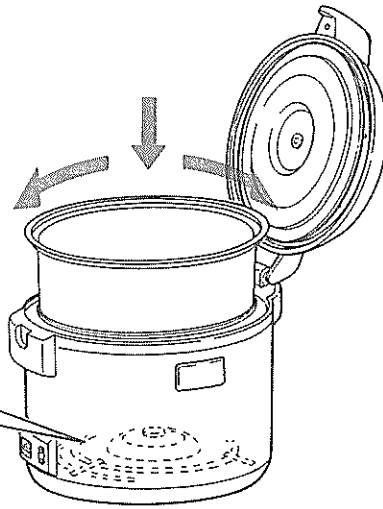
- ⇒9ページ「おいしく炊くために」参照
- 正しく水加減をしないと、ふきこぼれたりして、うまく炊飯できないことがあります。
- お米を洗って水加減をしたあと、少なくとも30分以上(冬場は1～2時間)水に浸してから炊飯を始めてください。

## 5

### 内なべを本体に セットする

- 内なべをかるく左右に回してきつちりとセットします。

熱板の上に何も  
ないことを確認  
してください。

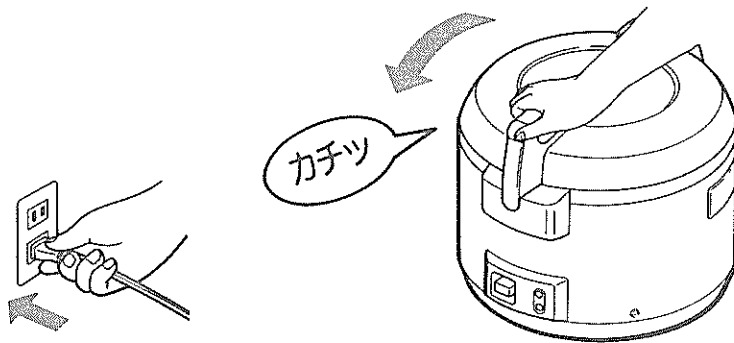


- 内なべの外側に水気やこげついたごはんつぶ、米つぶなどがついていると、故障の原因になりますので取り除いてください。また、内なべの外側がぬれていると炊飯中の加熱により、「水のはじける大きな音」がしますので水気を充分拭き取ってください。

## 6

### 外ぶたを閉め差し込みプラグを コンセントに差し込む

- 必ず、内ぶたがついていることを確認します。

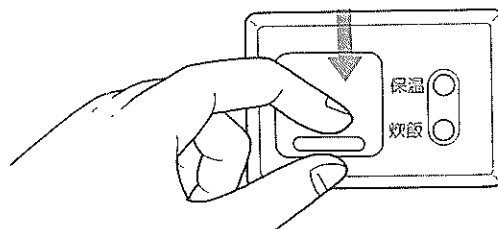


- 内なべの縁に米つぶがついていると蒸気もれ、故障の原因になりますのでご注意ください。

## 7

### 炊飯にセットする

- 炊飯ボタンを一番下まで押し下げると、炊飯ランプが点灯します。  
炊飯セット完了!

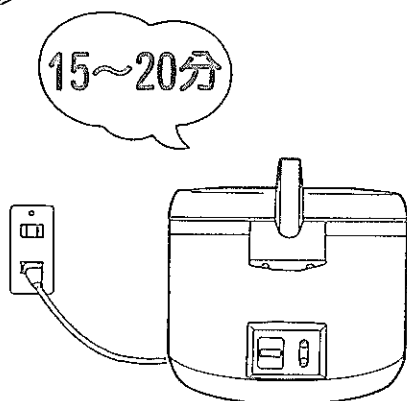


- 炊飯スイッチを必ず押してください。押さないと、ごはんが炊けません。  
炊飯スイッチは必ず1番下まで押し下げてください。押し忘れたり、押し方が途中でだとうごはんが炊けません。
- 炊飯しない場合は、必ず差し込みプラグをはずしておいてください。

8

## 15～20分間むらす

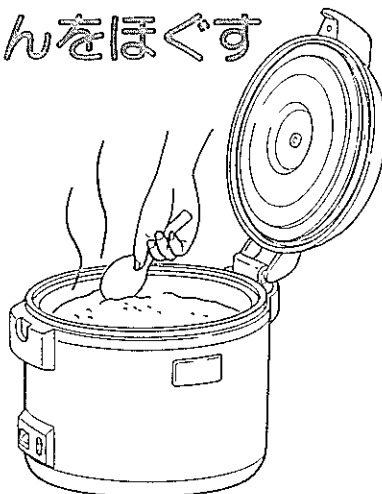
○炊飯が終わると自動的に炊飯ボタンがきれ、保温状態に入りますが、すぐにふたを開けないで、そのまま余熱で15～20分間むらしてください。



○炊飯ボタンがきれたあと、再び炊飯ボタンを押しつづけてするのは故障の原因になりますので絶対におやめください。

9

## 炊きあがり→ごはんをほぐす



○炊きあがったら、必ずごはん全体をほぐしてください。そのまましておきますと、ごはんが固まったり、べたついてたりします。

10

## 保温(12時間以内が適当)

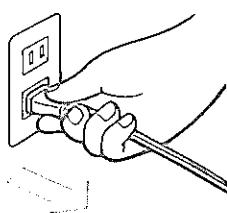
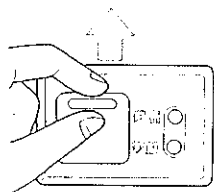
○そのままにしておくで保温を続けます。

○内なべの縁に米つぶをつけたまま、ふたを閉めないでください。蒸気もれて、乾燥の原因になります。

11

## 使用後は

- 1 炊飯ボタンを切(一番上)に押し上げます。
- 2 差し込みプラグを抜きます。



### ⚠ 注意

⚠ 必ず差し込みプラグを持って抜いてください。そうしない場合、感電やショートして発火する恐れがあります。



# おいしく炊くために

## 洗米は手早く、十分に

乾いた米粒はすぐに吸水するので、最初はたっぷりの水を一度に加え、汚れた水を吸わないうちにすばやく捨てるのがコツです。あとはヌカ分が残らないよう水が澄むまで、水をかえて洗います。

## おこげについて

- 香ばしくおいしいごはんに炊きあげるために、ごはんの底にうすいキツネ色のおこげがつきます。
- 次のようなときは、おこげがつきやすくなります。
  - 洗米が不十分なとき。
  - 長時間浸水させたとき。
  - 胚芽米を炊いたとき。

## お米の種類に合った水加減を

- お好みにより、水加減を調節してください。
- 胚芽米を炊くときは、洗米後約1時間浸水させてください。

お米の種類	水加減の目安
新米	目盛より少し少なめ
古米	目盛より少し多め
胚芽米	目盛どおり

## 無洗米を炊くとき

- 無洗米と水を入れた後、ひと粒ひと粒が水になじむように、底から良くかき混ぜてください。  
(上から水を入れてただだと、お米がなじまず、うまく炊けない原因になります。)
- 水を入れて白くにごるときは、1~2回水を入れ替えてすぐごとをおすすめします。  
(白くなるのは米のデンプン質でぬかではありませんが、そのまま炊くとこげたり、ふきこぼれや、うまく炊けない原因となります。)
- 無洗米を炊くときは基準目盛より水量を増やして炊飯してください。  
(例えば付属の計量カップで10カップの白米を炊くときは「12」の目盛で水加減して炊飯してください。)
- ご注意: 最大量以上炊かない。うまく炊けない原因

無洗米の炊飯量		無洗米水加減の目安表	
2.7L (1升5合タイプ)		炊飯量	無洗米の水加減の目安
最大量	最小量	6~9合	基準目盛+1目盛
13合	6合	10~15合	基準目盛+2目盛
3.6L (2升タイプ)		16~17合	基準目盛+3目盛
最大量	最小量		
17合	6合		

※炊きあがり状況に応じて、水加減してください。

# おいしく保温するために

## ふたは、確実に閉めましょう

- しっかり閉まっていないと、乾燥・変色・においの原因になります。
- 内ふたや内なべの縁にごはんつぶがついたときは必ず取り除いてください。

## 次のような保温は、やめましょう

におい・ぱさつき・変色や内なべの腐食などの原因になります。

- 冷やごはんの保温やつぎ足し
- しゃもじを入れたままの保温
- 12時間以上の保温
- 少量のごはんの保温
- 白米以外の保温

## 差し込みプラグを抜いたときは、すぐにコンセントに

- 温度が下がると、におい・変色の原因になります。

## 少量のごはんを保温するとき

少量のごはんを保温するときは、中央に盛りあげるようにして、できるだけ早くお召し上がりください。

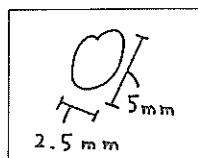
## 保温だけにご使用になるときは

- 1 内なべをセットし、差し込みプラグをコンセントに差し込みます。
- 2 20~30分後、内なべがあたたまってから、炊きたてのごはんを移します。

# 輸入米について

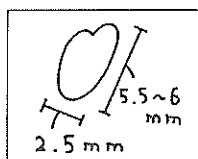
- お米の種類は、その形によって3種類に分けられます。

## ■短粒種(中国、韓国産など)



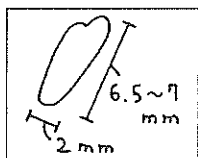
- 国内産米と同じジャポニカ種。
- 炊くと国内産米同様、粘り気が強く、やわらかく光沢があり白飯として食べられることが多い。

## ■中粒種(アメリカ、オーストラリア産など)



- 国内産米より少し長くて大きい。
- 粘り気は、短粒種と長粒種の間ぐらい。炊きあがりは、国内産米に似ている。

## ■長粒種(タイ産など)



- 細長いインディカ種。
- 粘り、弾力が少なくバラバラしている。
- 少しにおいが気になるものもある。
- 白飯としてはあまり向かないが、油と非常に相性が良いので、ピラフやチャーハンなどに最適。

## 輸入米をおいしく炊くために

### 短粒種

- 国内産米とほぼ同様にして炊けます。

### 中粒種

- アメリカ産米は、やや少なめの水加減で炊きます。
- オーストラリア産米の水加減は、国内産米と同じです。

### 長粒種

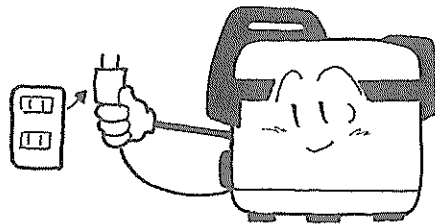
- 又カ臭さが強いので、しっかり洗米します。あまり強く研ぐと、粒が折れてしまうので注意します。
- やや多めの水加減で炊くと良いでしょう。
- 最大炊飯容量は、国内産米を炊くときの7~8割までにします。

## 輸入米は、国内産米以上に工夫が必要

- 洗米は手早くしっかりと。
- 浸水時間は長めに。1~2時間かけて充分吸水させましょう。
- 輸入米は、国内産米以上に産地や種類、収穫年度、精米の程度などによって、炊きあがりがかかなり違ってきます。
- 一度炊いてみて、お好みに合わせて水加減や浸水時間を変えてください。

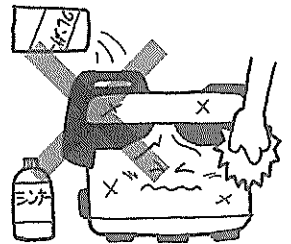
# お手入れの方法

差し込みプラグを抜き、本体が冷えてから



台所用合成洗剤以外は使わないで

- シンナー類
- クレンザー
- 化学ぞうきん
- ナイロンたわし



- 内なべ・内ぶた・つゆ受けなどは、いつも清潔にしてください。不十分ですと、腐食やにおいの原因となります。

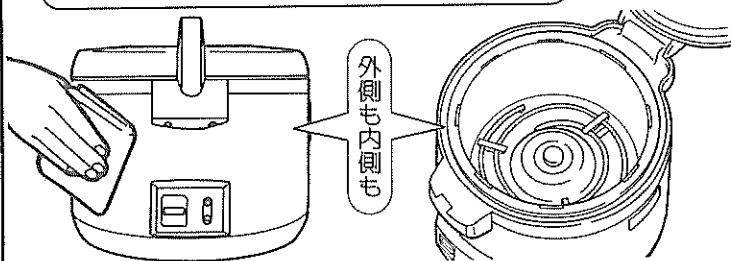
## 本体

- 固くしぼった布で、汚れをふきとります。
- 本体内部へは、絶対に水が入らないようにしてください。

### 警告



水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電の恐れがあります。

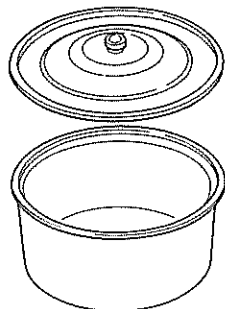


## 炊飯シート

- お湯にしばらくつけ、スポンジで洗うか軽くもみ洗いします。
- 汚れたまま使用するとご飯がうまく炊けないことがありますので、炊飯のつど必ず洗ってください。
  - 穴は目づまりのないようにしてください。
  - 炊飯シートは強く引っ張ったり、刃物などの先の鋭いものを当てないでください。いざなり切れたりしたときは、お求めの販売店でお買い求めください。
  - ご使用中、変色することがありますが、使用面・衛生面には影響ありませんので安心してお使いください。

## 内なべ・内ぶた・スチームキャップ

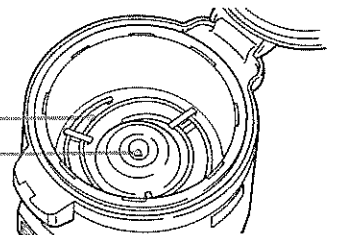
- 柔らかいスポンジで洗った後、水分をふき取ります。
- 内なべに食器類などを入れて、一緒に洗わないでください。



## 熱板・センターサーモ

- 熱板・センターサーモの上に、こげついたごはんつぶ、米つぶなどがあれば取り除きます。
- 取れにくい場合は、市販のサンドペーパー(320番程度)で軽くこすり、固くしぼった布でふき取ってください。

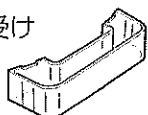
熱板  
センターサーモ



## つゆ受け・しゃもじ

- 柔らかいスポンジで洗った後、水分をふき取ります。
- 熱湯に浸すと変形するおそれがありますので、必ずぬるま湯で洗ってください。

つゆ受け



しゃもじ



## においの取り除き方

ご使用ごとに、こまめにお手入れしていただくのが一番ですが、もしにおいがついてしまった場合は、次のお手入れをしてください。

- ①内なべのなかに熱湯を7~8分目入れて、2~3時間保温します。
- ②内なべ・内ぶたを洗剤でよく洗います。
- ③風通しの良い場所で本体・各部を乾燥させます。

# 故障かな?と思ったら

- 下記の点検をしてもなお不具合の場合
- 本体に水や米が入ってしまった場合



お買い上げの販売店にご相談ください。ご自分で分解や修理は危険ですから絶対におやめください。

## 警告



改造しないでください。修理技術者以外の人は分解したり、修理をしないでください。修理に不備があると発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

原因	このような場合	ごはんが炊けない	炊きあがり時間が長くなる	蒸気がこもれる	ごはんが		おこげがキツネ色以上になる	保温中のごはんが			参照ページ
					かたすぎる・シンがある	やわらかすぎる		におう	パサつく	変色する	
炊飯ボタンを押し忘れた		●									7
内ぶた・スチームキャップをつけ忘れた				●					●		5
内ぶたや内なべの縁にこげついたごはんつぶ・米つぶがついている				●					●	●	3・6・11
内なべの裏・熱板・センターサーモにこげついたごはんつぶ・米つぶがついている	●				●	●	●				3・6・11
内なべの底が凸凹になっている			●		●		●				3・6
お米や具の量・水加減をまちがえた			●	●	●	●	●		●		4・6・9・10
充分洗米しなかった				●			●	●			6・9
よくほぐさなかった					●	●					8・9
正しい保温をしなかった								●	●	●	8・9
停電があつた			●		●			●			12

- プラスチック部品に線状及び波状の箇所が見える場合がありますが、これはウエルドライン及びフローマーク（樹脂成形時に発生する線状及び波状の跡）でご使用上の品質に支障はございません。

## 停電があつたとき

万一停電があつても、再び通電されると機能は正常に働きます。

こんな時停電になったら	再び通電されると
炊 飯 中	炊飯を続けます。
保 温 中	保温を続けます。

# 仕様

サイズ		2.7L(1升5合)タイプ	3.6L(2升)タイプ
電源		交流100V 50-60Hz	
消費電力 W	炊飯電力	1010	1410
	平均保温電力	50	52
炊飯容量 L		1.08~2.7 (6合~1升5合)	1.08~3.6 (6合~2升)
外形寸法 (約)cm	幅	36	36
	奥行	42.6	42.6
	高さ	35	38.3
重さ(約)kg		7.9	8.4
コードの長さ(約)m		1.5	

※平均保温電力は、定格電圧・室温20℃・満量保温の場合の平均電力(約)です。

## 炊飯シート(消耗部品)の取り換えについて

炊飯シートは消耗部品です。使い方により異なりますが、ご使用にともないいたんできます。汚れや破損がひどくなったときは、お買い上げの販売店にお問合せのうえ、お買い求めください。

# ◆◇ 電子炊飯ジャー返却時の梱包手順 ◇◆

**\*\*返却する物\*\*** 本体・炊飯シート・計量カップ・しゃもじ・つゆ受け

1



本体の中に炊飯シート・計量カップ・しゃもじを入れ、つゆ受けは本体につけ、箱に入れて下さい。

写真のように取扱説明書を入れて下さい。

2



パッキンを乗せて下さい。

3



出荷伝票(写真左上)下のビニール封筒の中の返却用着払い伝票を貼り付け位置に貼って送り返してください。(写真右下)

4



同封のPPバンド1本で留めて下さい。

この度は、ご利用頂きましてありがとうございましたm(\_)\_m



# 梱包時PPバンドの使用方法

①



輪をつくる。

②



つくった輪をストッパーに通す。

③



1本の足を輪の中に折りたたむ。

④



バンドを矢印の方向に引っ張る。

⑤



荷物に回したもう片方のバンドも同様に通す。

⑥



ひもを両端に引っ張り、しっかり締める。